

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
第 19 回(令和 6 年度)定時総会 議事録

日時 令和 6 年 5 月 27 日 (月) 14 時 50 分から 16 時 05 分

会場 Zoom によるオンライン開催

出席 加盟 104 校中; 出席 100 校、委任状 2 校、欠席 2 校

定款 第 30 条 (総会の定足数) 会員現在数の過半数から出席あり総会開催

次 第

教員研修会 : 13 時～13 時 50 分

臨地実習前の個人情報保護に関する学生指導と養成校教員の留意事項について
講師 : 弘前大学大学院保健学研究科/医学部保健学科 野坂大喜先生

厚生労働省・文部科学省からの指導・助言、質疑応答 : 14 時～14 時 40 分

定時総会 : 14 時 50 分～16 時 05 分

報告事項

- 1) 新規加入、校名変更、賛助会員
- 2) 第 18 回日本臨床検査学教育学会学術大会
- 3) 臨地実習指導者講習会
- 4) 学生向けタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定研修
- 5) タスク・シフト/シェアに関する動画作成
- 6) 能登半島地震奨学金
- 7) 次期カリキュラム改正等に向けた事前調査
- 8) 各種委員会報告
- 9) 共催行事
- 10) その他

議長及び議事録署名人 選出

審議事項

- | | |
|--------|------------------|
| 第一号議案 | 令和 5 年度事業経過 |
| 第二号議案 | 令和 5 年度収支決算 |
| 第三号議案 | 令和 5 年度監査 |
| 第四号議案 | 令和 6 年度事業計画 |
| 第五号議案 | 令和 6 年度予算 |
| 第六号議案 | 令和 7-8 年度役員選考委員会 |
| 第七号議案 | 日本臨床検査振興協議会 |
| その他の議案 | |

議長解任

報 告 事 項

1) 新規加入、校名変更、賛助会員

坂本理事長より、以下の3校の入会申請があり、定款に従って理事会で申請書類内容を元に審議を行い、入会が承認された報告がなされた。

厚生労働省指定校

〒892-0831 鹿児島県鹿児島市船津町4番18号
鹿児島天文館メディカルカレッジ 臨床検査学科（定員 40名）
議決権者：学科長 田口 洋介 先生

文部科学省指定校

〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9
愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻（定員 40名）
議決権者：専攻主任 教授 秋山 秀彦 先生

科目承認校

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
久留米大学 医学部 医療検査学科（定員 74名）
議決権者：学科長 教授 西 昭徳 先生

〒949-7241 新潟県南魚沼市黒土新田 500 番
北里大学健康科学部医療検査学科（定員 80名）
議決権者：学科長 教授 小丸 圭一 先生

〒154-8568 東京都世田谷区世田谷 3-11-3
東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 臨床検査学専攻（定員 32名）
議決権者：専攻長 教授 三村 邦裕 先生

賛助会員

〒101-8421 東京都千代田区神田猿楽町1丁目5番15号 猿楽町SSビル
株式会社 じほう
連絡者：MTJ編集部 編集長 清水 康功 様

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-31 KD 南青山ビル
株式会社 メディックメディア
連絡者：医療系第一編集部 新井 穂奈津 様

校名変更の届け出を受け、以下のように報告された。

新	旧
九州医療科学大学 生命医科学部 生命医科学科	九州保健福祉大学 生命医科学部 生命医科学科

2) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会

池主雅臣大会長より、学術大会の準備状況として以下の報告があった。また、富山智香子事務局
長より、演題募集登録期間は延長予定で決定次第に案内する旨の説明があった。

会 期 : 令和6年8月23日(金)～8月24日(土)
会 場 : 新潟大学医学部保健学科
〒951-8518 新潟県新潟市中央区旭町通2番町746番地
大会長 池主 雅臣 新潟大学
副大会長 廣畑 聡 岡山大学
実行委員長 佐藤 拓一 新潟大学
副実行委員長 齋藤 修 新潟大学
事務局長 富山 智香子 新潟大学
協議会事務局 小野川 傑 日本臨床検査学教育協議会(常務理事)
共 催 : 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
後 援 : 文部科学省・厚生労働省・一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会・一般社
団法人 新潟県臨床検査技師会
演題募集登録期間: 令和6年4月10日(水)～5月31日(金)
大会HP : <https://jamtel8.secand.net/endai.html>
学会テーマ 「多様化する医療現場を見据えた知技の学び」

プログラム概要

1日目 8月23日(金) 新潟大学

開会式

開会挨拶 理事長 坂本秀生

10:40-11:40 基調講演: 生涯教育・医療現場教育について(仮)

11:50-12:20 学術総会・学術評議員会

12:30-13:30 ランチョンセミナー

13:40-15:10 シンポジウム: 魅力的な大学院教育ならびに院修了後教育

13:30-16:20 一般演題(大学院生、学部)

15:20-16:50 シンポジウム: 臨地実習に組み込まれた多職種連携 現状・展望と学部学生
に求めるもの

17:00-18:00 科目別分科会

2日目 8月24日(土) 新潟大学

9:10-11:20 一般演題(教員、学部)

11:20-12:20 特別講演: 頼りになる臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育

12:30-13:20 ランチョンセミナー

13:30-15:00 シンポジウム: 臨地実習前技能到達度評価の実際と今後に向けた取り組み
～各分科会での検討事項をもとに考える～

15:00-15:30 優秀演題表彰式

15:30-15:40 大会長挨拶

閉会式

閉会挨拶 理事長 坂本秀生

次期大会長挨拶 副大会長 廣畑 聡(岡山大学)

*適切な感染対策を講じますが、COVID-19感染状況によってはWeb開催とします。

3) 臨地実習指導者講習会

坂本理事長より、臨地実習指導者講習会の開催状況について以下が報告された。

臨地実習指導者の在籍が1名の場合、転職、退職等で不在となり、臨地実習受入不可で新たな臨地実習施設へ依頼を行うことが生じた。このようなことが生じないよう、複数名の臨地実習指導者が在籍頂けるよう、臨地実習施設へ依頼を各校からも行うことが推奨された。

修了実績 令和6年5月13日時点			
実施年度	修了者数	在籍施設累計	修了者累計
令和3年度	498	498	498
令和4年度	559	922	1,057
令和5年度	597	1,189	1,654
令和6年度	60	1,195	1,714

令和6年度予定

4月21日 北日本支部
5月19日 中部圏支部
7月15日 関甲信支部
8月4日 中四国支部

3) 学生向け タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣が指定する研修会

坂本理事長より、研修会の開催及び申込み状況について以下が報告された。

また、黄色マーカー部分の注意喚起を告示研修会事務局より受け、案内があった。

実技研修まで終了 40校
Web研修申込み 24校

開催後の受講者事前参加申請を行わず、参加登録を行い学校があるそうです。

研修会の申請後、受講者事前参加申請を各校で行い、実技研修開催後に受講者の参加登録を行い、修了証および請求書等の出力を行う

※受講者事前参加申請（ガイドンス P9～）参照

4) タスク・シフト/シェアに関する動画作成

坂本理事長より、教材用動画作成について以下の経過が報告された。

① 血液成分採血に関する教材用動画：

正会員校へダウンロードURLを送付済 ダウンロード期限：令和6年7月21日

② MEP（運動誘発電位）・SEP（体性感覚誘発電位）に関する教材用動画

厚生労働省指定講習会の動画教材を作成頂いた方々に依頼し作成中

5) 能登半島地震奨学金

坂本理事長より、能登半島地震の被災学生に対する支援として、返済不要な奨学金支給を行った経緯について以下が報告された。

令和6年1月24日～2月7日に正会員校学生の被災状況調査後、本会「奨学金規定(内規)」を元に奨学金委員会を設け奨学金規定(内規)第一条に従い奨学金委員会を設けて3回の委員会を開催し、奨学金対象者および奨学金額を決定した。

日本臨床検査同学院より被災学生への奨学金として25万円の寄付を頂けることになり、本会から25万を支出し50万円を奨学金基金とし、対象学生へ本会事務局より指定口座へ振込を行った。

奨学金額：準半壊に至らない5万円：1名、半壊 15万円：3名（小計45万円）、総額50万円

7) カリキュラム改正に関する調査

坂本理事長より、次期「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」までに、本会として令和6年度中に調査すべき項目として、以下の報告があった。

1. 指定校統一化の必要性についての検討

教育面で質の統一化に指定校統一化が必要か、会員校から意見集約

調査内容：指定校統一化 必要、不要、どちらとも言えない の三択 自由記述でその理由

2. 臨地実習前における技能修得到達度評価内容の統一化に向けた基礎データの収集と課題の検討 科目別分科会で示した実施要項の利用状況

調査案：科目別分科会で示した実施要項の「評価項目（A, B, C、共通）」「評価内容（〇〇ができる）」について：現状でよい、改善が必要である の二択

自由記述：改善が必要である場合、具体的に記述

技能修得到達度評価の実態・進捗を把握し、効果的な評価内容と適切な審査基準への課題

調査案：第三者評価：学外者に評価を依頼、依頼しなかった の二択 自由記述でその理由

自由記述：技能修得到達度評価での工夫、課題等の記述

3. 臨地実習施設のマッチング機能導入の必要性和仕組み作りについての検討

新カリキュラムでの臨地実習状況の把握

調査案：実施学年（何年生で行うか）、実施時期（何月に実施）、臨地実習期間（実際に行った日数）、実施必須行為・見学必須行為の依頼状況

4. 新カリキュラム内容の検証 本会独自で行う必要があること

調査案：改正された内容の過不足ある場合、どの科目を増やし、どの科目を減らすか教育の質向上ができたか（期待できそうか）

5. 臨地実習施設の依頼状況の把握

一人の学生が一施設ですべて完了できたか

調査案：実施必須項目、見学必須項目を同一施設で行えた施設数、複数施設で行った場合にどの項目を他施設で行ったか、在宅医療、検査センター、健診センター等で行ったか、施設の調査

8) 各種委員会報告

坂本理事長より、令和5年度の各種委員会の活動として、以下の報告があった。

国家試験対策委員会

1. 模擬試験進捗状況：問題作成者決定後の依頼確認、ならびに問題作成中。

2. 6月下旬に模擬試験受注案内（令和5年と同様）

R5年度より受注受付を3部以上とする。但し新設の大学に於いてはその範囲ではない。

既卒生も学校単位での受注受付とする。（個人単位の受注受付はしない。）

3. 模擬試験価格：問題1セット(A, B) 本体1,600円＋税160円 合計1,760円

4. 国家試験対策委員で担当分野を割り振り、問題を校正する

模擬試験作成今後の予定

～6/10(月)：問題作成

～7/26(金)：委員による校正完了

～9月下旬：印刷完了、発送

模擬試験発注などの予定

6月初めまで：模擬試験受注案内

6月下旬頃まで：受注についての各校からの回答

10月下旬ごろ：模擬試験代金支払い

地区部会委員会

1. 令和6年度活動計画

近畿中国四国部会総会・研修会 令和6年6月9日（日）オンライン（zoom）開催

担当：天理大学

国際協力委員会

1. Learning Lab for Laboratory Medicine の翻訳確認協力

ADLM、IFCC 及び New England Journal of Medicine が協力して作製した、臨床検査の適応型学習教材を英語から 9 ヶ国語へ翻訳するプロジェクトの日本語訳確認作業。国際協力委員会の委員を中心に本会からも協力を募り、18 テーマへ会員校の先生方から協力を頂き、翻訳確認を進行中。

広報委員会

1. 臨床検査技師啓発イベント等の告知ポスターのテンプレートのウェブサイト掲載

開催母体、会場、日付、内容、QR コードなどを空白にしたイラスト入りのテンプレートが、本会ウェブサイトの会員校ページよりダウンロード可能になっており、活用いただきたい。

2. ウェブサイトに掲載する情報の充実について

臨床検査技師資格の取得後に、どのような活躍の場があるかを、高校生や養成校の学生向けに発信するページを設けたいと考えている。掲載する文章や写真等の提供を各校に依頼する際には、ご協力をお願いしたい。

編集委員会

1. 「臨床検査学教育」16 巻 1 号（令和 6 年 3 月 1 日発刊：学会特集）

総説 1、原著 1、学術集会における特別講演等の資料 9 件、学生優秀発表賞受賞演題 6 件、国際交流、編集後記

2. 「臨床検査教育」16 巻 2 号（令和 6 年 9 月 1 日発刊予定）

総説 1、原著 1、報告 1、関連学会報告、教育機関紹介 2 件、書評、編集後記を予定

研修委員会

1. 令和 6 年度定時総会 教員研修内容および講師について

内容：臨地実習前の個人情報保護に関する学生指導と養成校教員の留意事項について
講師：弘前大学大学院保健学研究科/医学部保健学科 野坂大喜先生

2. アンケート調査報告

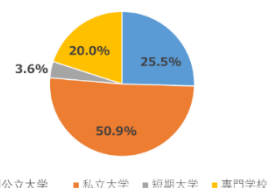
令和 6 年 3 月 4 日から 3 月 25 日にかけてアンケート調査を実施した。

(1) 回答状況 55

①国公立大学	14	25.5%
②私立大学	28	50.9%
③短期大学	2	3.6%
④専門学校	11	20.0%

回答状況について

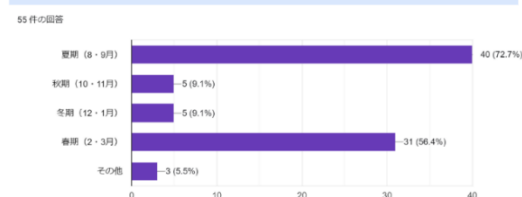
回答数 55
国公立大学 14 私立大学 28 短期大学 2 専門学校 11



(2) 教員研修会に参加しやすい時期について（複数回答）

①夏期（8/9 月）	46	72.7%
②秋期（10/11 月）	5	9.1%
③冬期（12/1 月）	5	9.1%
④春期（2/3 月）	31	56.4%
その他	夏期は 9 月が良い、春期は 3 月が良い	

Q1 研修会に参加しやすい時期を選択してください。（複数回答）



(3) 研修テーマに関心のある項目について（複数回答）

①臨地実習関連	35	63.6%
②国家試験対策	40	72.7%
③タスクシフト関連	24	43.6%
④学習支援（就学支援が必要な学生の支援を含む）	25	45.5%
⑤進学関連（大学院・留学）	11	20%
⑥就職関連（細胞診などの進学を含む）	15	27.3%
⑦臨床検査技師教育カリキュラム（臨床検査学教育版モデルコアカリキュラム）	29	52.7%

⑧臨床検査学教育の現状（他職種の視点から） 22 40%

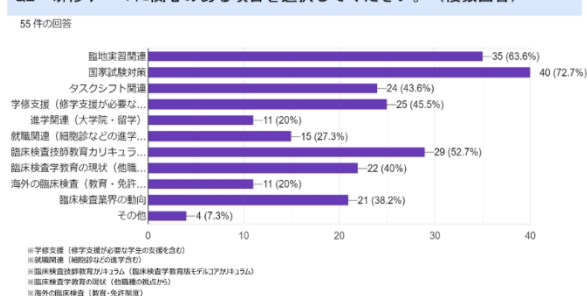
⑨海外の臨床検査（教育・免許制度） 11 20%

⑩臨床検査業界の動向 21 38.2%

その他（自由記載）

- ・単位数の増加と教員定数
- ・教育現場での AI 活用事例について
- ・高齢化社会における臨床検査技師の役割
- ・技師会との連携について
- ・臨床検査技師教育の方向性と将来
- ・臨床検査学教育について臨床の視点より
- ・病理実習に必要な検体や症例の調達について

Q2 研修テーマに関心のある項目を選択してください。（複数回答）



(4) 研修委員会への意見・要望など

- ①令和 6 年 4 月から義務化された、学校における合理的配慮の提供について、先行している国立大学の専門家から研修して頂けると助かります。
- ②総会開催時の教員研修はいつも有意義なものと感じています。それと同時に臨床検査学教育学会学術大会の際の教員発表も、教員研修の一環ととらえています。他校の動向やほかの先生方の取り組みを知ることができて大変参考にさせていただいています。
- ③日程調整が合わないことが多いので同テーマで複数回実施していただけると助かります。
- ④いつも重要なテーマをお取り上げいただきありがとうございます。多くの教員に聴講してもらいたい内容ですので、できればオンデマンドで配信いただけないか。
- ⑤文科省の教育方針が変化していますが、社会（臨床現場）はそれをどのように活用しようとしているのか、社会構造の変化に臨床現場はどのように追従しようとしているのかを知りたい教員が多いようです。
- ⑥単発的な研修でもよいのですが、継続的に行う内容もあろうかと思えます。テーマにもよりますが、協議会メンバー校の事例なども紹介できたら良いかもしれません。
- ⑦聴講できない場合があるので、（引き続き）オンデマンド配信を希望します。
- ⑧多くの大学の臨床検査技師育成カリキュラムマップを紹介して頂きたい。これを参考にして、学生が 1～4 年次にどの科目をどの順番で学ぶのが世間一般的なのか知りたい。

3. 令和 6 年度の活動計画について

アンケート調査を踏まえ、テーマ選定、実施方法、時期などの検討を行う。

学会運営委員会

1. 第 18 回日本臨床検査学教育学会学術大会
大会長：池主 雅臣（新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻）
期日：令和 6 年 8 月 23 日（金）～24 日（土）
2. 第 19 回日本臨床検査学教育学会学術大会
大会長：廣畑 聡（岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻）
期日：令和 7 年 8 月 21 日（木）～22 日（金）
3. 第 20 回日本臨床検査学教育学会学術大会
大会長：勝田 仁（九州大学大学院医学研究員保健学部門検査技術科学分野）
期日：令和 8 年（予定）
4. 第 21 回日本臨床検査学教育学会学術大会
開催校：北里大学医療衛生学部医療検査学科
期日：令和 9 年（予定）

学術委員会

1. 令和 5 年度活動報告
令和 5 年度科目別分科会開催（令和 5 年 8 月 23 日 於：天理大学）。
学術委員会を 1 回開催（第 1 回令和 5 年 11 月 17 日 オンライン）。

2. 「臨地実習前技能修得到達度評価」についての検討
 - ・各分科会での検討結果を第1回学術委員会にて情報共有した。
3. 令和6年度活動予定
 - 2回の学術委員会を予定（適宜）
 - ① 令和6年度学術委員会委員名簿作成
 - ② 令和6年度科目別分科会開催（令和6年8月23日 於：新潟大学）
 - ③ 令和6年度分科会会長・副会長名簿作成
 - ④ 「臨地実習前技能修得到達度評価」に関する項目、評価方法などの検討継続。
4. 令和5年度分科会会長・副会長(R6.8まで)
5. 分科会名変更 「臨床血液分科会」 ⇒ 「血液検査学分科会」

9) 共催行事

坂本理事長より、他団体との共催行事につき、以下の行事で理事会承認を得、共催することが報告された。

- ① [第9回 日本薬学教育学会大会](#) 大会長：袴田秀樹（東京薬科大学）
共催依頼シンポジウム：多職種連携教育に関するシンポジウム
テーマ：これからの多職種連携教育の学修プログラムと課題を共に考える
開催日：令和6年8月18日（日）9：30～11：30
- ② [第64回日本臨床化学会年次学術集会](#) 集会長：山田俊幸（自治医科大学）
共催依頼シンポジウム：学生シンポジウム
開催日：令和6年8月31日（土）
- ③ 日本臨床衛生検査技師会 令和6年度支部学会内 「中高生進路支援ガイダンス」

支部	開催日時 / 会場
北日本	会 期： 令和 6 年 12 月 14 日（土）～15 日（日） 会 場： 仙台国際センター テーマ： 共創思考・力 未知の奥にある新しい価値
関甲信・ 首都圏	会 期： 令和 6 年 10 月 26 日（土）～27 日（日） 会 場： 軽井沢プリンスホテルウエスト テーマ： 響 ～未来を奏でるシンフォニー～
中部圏	会 期： 令和 6 年 11 月 2 日（土）～3 日（日祝） 会 場： 名古屋国際会議場 テーマ： どうするタスク ～愛知に集い、技師の働き方を考える～
近畿	会 期： 令和 6 年 11 月 3 日（日祝）～4 日（月） 会 場： 大阪国際会議場（グランキューブ大阪） テーマ： 未来共創 ----次世代とともに----
中四国	会 期： 令和 6 年 11 月 2 日（土）～3 日（日祝） 会 場： とりぎん文化会館 テーマ： 新時代 ― 今こそ臨床検査技師の真価を問う ―
九州	会 期： 令和 6 年 11 月 9 日（土）～10 日（日） 会 場： 鹿児島サンロイヤルホテル テーマ： Take the next step ～未来へ踏み出す大きな一歩～

10) その他
なし

議長、議事録署名人の選出

議長に關谷暁子理事を選出し、議事録署名人として富山智香子理事、高崎昭彦理事が指名された。

審議開始前に議長より、投票機能もしくはチャット機能で意思疎通が行えることの確認がなされた後、15 時 28 分より審議を開始した。

議 案 審 議

第一号議案 令和5年度事業経過報告

小野川常務理事より以下の報告と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

令和5年度 事業経過報告

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議を行った。また、改正された臨床検査技師学校養成所指定規則に則り、日本臨床衛生検査技師会と合同で臨地実習指導者育成にむけた臨地実習指導者育成協議会の立ち上げ、ならびに実習指導者講習会の運用を開始した。さらに、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験問題検討委員会などの活動を通じて、臨床検査学の啓発と教育問題に関する調査研究を行った。

令和5年5月15日

第1回理事会

令和5年5月29日

第18回定時総会、第2回理事会：Zoom会議

令和5年6月12日

第3回理事会：Zoom会議

令和5年8月23日

日本臨床検査学教育学会評議員会：天理大学（奈良県）

令和5年12月5日

第4回理事会：Zoom会議

令和5年12月18日

臨時総会・教育講演会：Zoom会議

令和6年1月25日

第6回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議

（その他）

- ・会員校の加入開拓：日本文理大学保健医療学部保健医療学科（文科省指定校）、新潟薬科大学医療技術学部臨床検査学科、大分大学医学部 先進医療科学科の新規加入申し込みを受け付けた。
- ・学術会員登録：各加盟校教員により構成される学術会員登録を行った。
- ・ホームページ内容更新：
- ・教育用動画制作：タスクシフトに伴う行為のうち、血液成分採血について先行して動画制作が完了した。
- ・模擬試験制作にかかる経費の見直しを検討した。

第二号議案 令和5年度収支決算報告

小野川常務理事より以下の報告と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

令和5年度 収 支 計 算 書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目	R5年度予算額	R5年度決算額	差 引	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一 般 会 費 収 入	7,030,000	7,170,000	140,000	会員校101校、賛助会員1社
雑 収 入	1,500,000	1,472,546	-27,454	印税、看護協会Will手数料他
学 術 学 会 関 連 収 入	4,800,000	5,070,200	270,200	参加費、寄付金、広告掲載料、学会準備金返金分
模 擬 試 験 関 連 収 入	7,722,000	7,516,050	-205,950	模擬試験問題冊子販売収入 3,796部 (¥1,800+税 ¥180 = ¥1,980)
事 業 活 動 収 支 計	21,052,000	21,228,796	176,796	
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出	14,038,718	14,096,764	58,046	
教 育 講 演 料	120,000	66,822	-53,178	学術大会、定時総会、地区部会セミナー講師謝礼及び交通費
教 育 普 及 活 動	4,500,000	5,820,039	1,320,039	模擬試験問題作成費、印刷、配送料 模試作成料、校正料、動画制作
臨 地 実 習 指 導 者 講 習	3,018,718	1,840,828	-1,177,890	臨地実習指導者講習会運営経費
学 術 大 会 開 催	4,400,000	4,793,325	393,325	第17回学術大会開催
学 会 誌 出 版	2,000,000	1,575,750	-424,250	学会誌電子化編集費 3巻分(15巻1号、15巻2号、16巻1号)
管 理 費 支 出	5,135,000	4,663,093	-471,907	
広 告 宣 伝 費	650,000	618,530	-31,470	Webサイト管理(月額) ¥44,000×12 = ¥528,000、サーバー費用、ドメイン費用1年分 ¥60,610、ページ名の変更に伴う各種修正 ¥22,000
印 刷 費	100,000	17,820	-82,180	協議会名入り封筒印刷
租 税 公 課	75,000	70,050	-4,950	法人登記変更費用
接 待 交 際 費	50,000	3,564	-46,436	慶弔費、手土産など
通 信 費	150,000	147,202	-2,798	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配
会 場 費	100,000	50,000	-50,000	令和5年度国試問題検討委員会施設使用料他
消 耗 品 費	100,000	19,419	-80,581	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行 事 費	230,000	242,061	12,061	各種委員会委員日当、理事長選挙電子投票システム利用経費
旅 費 交 通 費	100,000	134,227	34,227	理事、委員の交通費・宿泊費
会 議 費	150,000	145,200	-4,800	Zoom年間契約料
顕 彰 費	210,000	83,245	-126,755	永年精励賞表彰状11名、送料
寄 付 金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,600,000	2,567,975	-32,025	事務局人件費(アルバイト2名×12か月)、事務局賃料等
雑 費	550,000	493,800	-56,200	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング手数料
法 人 税 等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事 業 活 動 支 出 計	19,173,718	18,759,857	-413,861	
事 業 活 動 収 支 差 額	1,878,282	2,468,939	590,657	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出 資 金 収 入	0		0	
受 取 利 息	185	433	248	
財 務 活 動 収 入 計	185	433	248	
2. 財務活動支出				
財 務 活 動 支 出 計	0		0	
財 務 活 動 収 支 差 額	185	433	248	
III. 予備費支出				
当 期 収 支 差 額	1,878,467	2,469,372	590,905	
前 期 繰 越 金	27,567,298	27,567,298	0	
次 期 繰 越 金	29,445,765	30,036,670	590,905	

第三号議案 令和5年度監査報告

伊藤監事より以下の報告と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

監査報告

一般社団法人

日本臨床検査学教育協議会

理事長 坂本 秀生 殿

定款第3章第13条5および会計規程第6章36条の規定に基づき、
令和5年度の会計帳簿および事業報告の内容を監査した結果、会計
は正確に処理されており、また会務は適正に運営されていることを認
めます。

令和6年5月10日

監事

伊藤 昭三



監事

上原 昭浩



第四号議案 令和6年度事業計画案

小野川常務理事より以下の提案と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議をする。会員校との意見交換や相談などに対応する。また、昨年度より運用が開始された日本臨床衛生検査技師会との合同事業である臨地実習指導者講習会の継続と、臨地実習指導者育成協議会に参画することでよりよい臨地実習の環境づくりを目指していく。さらに、臨床検査学の啓発とさらなる教育力向上を目指して、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験対策検討委員会などの活動を通じて調査研究を行う。

令和6年5月13日 第1回理事会：Zoom会議

令和6年5月17日 第7回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議

令和6年5月27日 第19回定時総会：Zoom会議

令和7-8年度役員選考委員会立ち上げ

令和6年8月5日：第2回理事会、学術理事会 13:00より：Zoom会議

令和6年8月23-24日：第18回日本臨床検査学教育学会学術大会（新潟大学）
（23日 11:50-12:20 学術総会、学術評議員会）

令和6年11月下旬 令和7-8年度代表理事選挙

令和6年12月2日：第3回理事会：Zoom会議

令和6年12月16日：令和6年度臨時総会：Zoom会議

令和7年5月12日：第4回理事会：Zoom会議

（通年事業）

- ・機関誌「臨床検査学教育」発刊（編集委員会）
- ・加盟校学生向け国家試験模擬試験問題の作成（国家試験対策委員会）
- ・臨地実習指導者講習会の日本臨床衛生検査技師会との合同運営（臨地実習指導者講習会受講終了施設の情報管理などの新規事業を含む）

（その他）

- ・タスクシフトに伴う行為に関する教育用動画制作

第五号議案 令和6年度予算案

小野川常務理事より以下の提案と説明があり、審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

令和6年度予算計画書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R5年度決算額	R6年度予算額	差引	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	7,170,000	7,410,000	240,000	会員校103社、賛助会員2社
雑収入	1,472,546	1,750,000	277,454	印税、看護協会Wii手数料、日本臨床検査同学院義援金 他
学術学会関連収入	5,070,200	4,800,000	-270,200	参加費、寄付金、広告掲載料、学会準備金返金分
模擬試験関連収入	7,516,050	6,688,000	-828,050	模擬試験問題冊子販売収入 3800部の見込み (¥1,600+税 ¥160=¥1,760)
事業活動収支計	21,228,796	20,648,000	-580,796	
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,096,764	12,489,844	-1,606,920	
教育講演料	66,822	100,000	33,178	学術大会、定時総会、地区部会セミナー講師謝礼及び交通費
教育普及活動	5,820,039	5,540,000	-280,039	模擬試験問題作成費、印刷、配送料 模擬試験作成料、校正料、教育用動画制作
臨地実習指導者講習	1,840,828	949,844	-890,984	臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	4,793,325	4,400,000	-393,325	第18回学術大会開催
学会誌出版	1,575,750	1,500,000	-75,750	学会誌電子化編集費 16巻2号、17巻1号
管理費支出	4,663,093	5,441,730	778,637	
広告宣伝費	618,530	596,530	-22,000	Webサイト管理(月額) ¥44,000×12=¥528,000、サーバー費用、ドメイン費用1年分 ¥68,530
印刷費	17,820	50,000	32,180	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	70,050	0	-70,050	法人登記変更費用
接待交際費	3,564	50,000	46,436	慶弔費、手土産など
通信費	147,202	150,000	2,798	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配送料
会場費	50,000	50,000	0	令和6年度国試問題検討委員会施設使用料他
消耗品費	19,419	150,000	130,581	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行事費	242,061	230,000	-12,061	各種委員会委員日当、理事長選挙電子投票システム利用経費
旅費交通費	134,227	150,000	15,773	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	145,200	145,200	0	Zoom年間契約料
顕彰費	83,245	150,000	66,755	永年精励賞表彰状、送料
寄付金	0	500,000	500,000	能登半島地震奨学金
事務局運営管理費	2,567,975	2,600,000	32,025	事務局人件費(アルバイト2名×12か月)、事務局賃料等
雑費	493,800	550,000	56,200	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング手数料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	18,759,857	17,931,574	-828,283	
事業活動収支差額	2,468,939	2,716,426	247,487	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0			
出資金収入	0		0	
受取利息	433	433	0	
財務活動収入計	433	433	0	
2. 財務活動支出	0			
財務活動支出計	0		0	
財務活動収支差額	433	433	0	
III. 予備費支出	0			
当期収支差額	2,469,372	2,716,859	247,487	
前期繰越金	27,567,298	30,036,670	2,469,372	
次期繰越金	30,036,670	32,753,529	2,716,859	

第六号議案 令和7-8年度役員選考委員会

小野川常務理事より、現在の役員の任期満了（令和7年3月末日）に伴い、次期役員選考のため組織運営規定第7条に基づき、役員選考委員会を立ち上げる旨の提案と説明があり、委員候補者の推薦がなされた。審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て役員選考委員会の発足と5名の委員が承認された。

選考対象および役員選考委員会の業務：

- ・代表理事（理事長）：役員選考規定第2条ならびに第3条に基づき、立候補者の受付、および議決権者による選挙を実施するための準備をいたします。
- ・理事：役員選考規定第7条に基づき、次期候補者について検討、推薦いたします。
- ・監査：役員選考規定第8条に基づき、任期満了となる1名の次期候補者について検討、推薦いたします。
- ・その他、役員選考規定第5条に掲げる選挙に関する業務全般について、これを実行いたします。

役員選考委員会委員候補者：

役員選考委員会内規に基づき、理事会審議を経て以下の5名を委員候補者といたします。

- ・渡邊 幹夫 （大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 生体病態情報科学講座 教授）
- ・松下 誠 （群馬パース大学医療技術学部・学部長・教授、元本会常務理事）
- ・福島 亜紀子 （女子栄養大学栄養学部保健栄養学科・教授）
- ・水上 紀美江 （湘央医学技術専門学校臨床検査技術学科・学科長代理）
- ・小野川 傑 （本会事務局長、埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科・学科長・教授）

役員選考委員会事務局：

事務局は埼玉医科大学保健医療学部内（埼玉県日高市山根 1397-1）に設置する。

役員選考委員会の解散

令和7年5月定時総会終了後

第七号議案 日本臨床検査振興協議会への入会

令和4年度に会員校から問合せを受けた、一般社団法人 日本臨床検査振興協議会(以下、振興協議会)へ本会の加盟につき、坂本理事長より理事会にて審議を重ねた報告があった。

理事会では令和5年度第2-5回理事会にて審議及び興協議会との連絡も行い、入会による本会へのメリット、デメリット、金銭的負担、入会に伴う本会の役割分担(負担)等の確認を行った。

理事会としては賛助会員としての入会を審議し、デメリットを考慮しても賛助会員になる効果が大きいと考え、振興協議会へ賛助会員として本会が入会する提案があった。

審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

その他の議案

なし

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Web会議でも滞りなく進行できたことを議長が確認し、16時05分に終了した。

閉会の辞

坂本理事長より閉会挨拶

令和6年5月30日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印

議事録署名人 富山智香子 印

議事録署名人 高崎昭彦 印